

みんみん

2004年 11月 24日 Vol. 42
特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

魅力ある大人が若者を変える



イラスト 小口 翠

最近、会社としても個人としても教育分野との関わりが増えてきています。社会が複雑になっていくにしたがって、画一的な教育と自信の無い大人たち（もちろん親も含まれますが）の生き方が子どもたちに大きな悪影響を与え始めています。

学校や家庭では、「どう生きるのか？目標を実現するためにはどんな仕事に就きたいのか？」についてどれほど話し合い、体験させているのでしょうか。そういったことを考えさせるチャンスを早い段階からどんどん投げかけてやる必要があると感じています。

一方で起業家教育やキャリア教育なるものも学校でも展開されつつありますが、どうも地に足が着いていないという印象です。自分の性格に合った仕事を見つけましょう、という教え方も分かるのですが、社交的な性格だから営業職に就きたいといっても、現実は必ずしも希望する職場で働くわけではありません。自分の意のままにはならないのが世の中ですから、そういったことが嫌ですぐ辞めてしまうという風潮もあります。そうするとすぐに大人たちは「我慢が足りない」と言ってしまいますが、果たしてそれだけでしょうか？そこに仕事の深さや面白さを教えてくれる先輩や上司がいれば、多くの人は救われるのです。上司や先輩も不満だらけで仕事をしていれば、若い人もそれを見て嫌になってしまうのは当然です。「手本となる大人が近くにいない」こと自体に、どうも今の社会や教育における閉塞感があるような気がしてなりません。

自分は一体どんな仕事をしたいのだろう？と悩む若者は増えています。基本的には自分自身でその答えを見つけるしかなければならないのですが、目先を変えた小手先の教育にお金と時間を注ぎ込むよりも、魅力ある大人たちが街のいたるところにいて、若い人たちと出会う環境を作るほうが、まっとうな社会になっていくのでは、と思っています。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 針生 英一

内 容

せんだいCARESオープニング報告、SSS上半期報告
講座のお知らせ、センドードサロン報告、
評議員会報告、らくだのブクブク、BOOK
事務局活動報告、事業紹介

● せんだいCARES オープニング報告 ●

出発！仙台のまちのソチコチがNPOのステージになる36日間

昨年に引き続き、今年も「せんだいCARES」がスタートしました。今年は、実行委員会とせんだい・みやぎNPOセンターが共催して、よりパワーアップしての開催です。

今回は、10月30日に、多くのNPOや市民で賑わったオープニングイベントの模様を紹介します。

●幕開けは、ゴスペルチーム！

オープニングは、ゴスペルチーム「125」(ワントゥエンティ フィフス)の澄んだ歌声で幕を開けました。せんだいメディアパークのオープンスクエアを通る人たちも、ふと足をとめ聞き入るほどの熱唱が会場を包みました。そしてこの後、実行委員長の小関さんがあいさつ。スタッフ一同が「今年のケアーズがはじまった！」と再確認した一瞬でした。

この後は、NPOがそれぞれに趣向をこらし、ステージで活動を紹介。熱弁を振るう団体があったかと思えば、体を使って世界一の技を披露する団体もあり、盛り上がりました。NPOのプレゼンに関心を持った市民の中には、直接団体のブースに赴き、活動の説明やイベントの内容を確かめる姿も多く見受けられました。

●ラジオ収録で活動をアピール

これらの活動紹介と時を同じくして、会場に設けられたラジオ(FMじょんぱ)の収録ブースでは、参加NPOにケアーズ実行委員がインタビューを行いました。この模様は、FMじょんぱで随時オンエアされています。

●プロモーションビデオ完成？！

また、せんだいケアーズに興味をもった市民

グループ「仙台市民メディアネットワーク」は、オープニングの模様をケーブルテレビで放送するためビデオ撮影を行いました。今後は、ケアーズのプロモーションビデオとして皆さんの中に触れることもあると思います。楽しみにしていてください。

最後は、「ベガルタ仙台チアリーダーズトップチーム」のみなさんによるチアリーディングで幕をとじました。「まちづくりを応援したい！」という彼女たちが振り付けをアドバイス。子どもから、若者、高齢者まで両手・両足を使いながら楽しく参加。会場が一つになった瞬間でした。

現在、仙台のあちらこちらでNPOが知恵を絞り工夫を凝らし、事業・イベントを開催しています。そして、ケアーズパンフレットを見た多くの市民が訪れ、相談したり参加したりしていることでしょう。ぜひ皆さんもNPOを訪ねてみてください。

◆フィナーレのご案内

日程：2004年12月4日（土）16～18時

会場：仙台市市民活動サポートセンター

3階 セミナーホール

参加費：500円

申し込み：せんだい・みやぎNPOセンター

最終日に皆さんで盛り上がりましょう！！

申込お待ちしています！ （遠藤智栄）



●河本道生さん

一番町四丁目商店街振興組合

NPOの活動には思いの深い人たちがたくさんいて感動しました。今後はもっと情報を外へ発信し、活動を遠慮なくアピールすることが大切だなと感じます。オープニングイベントでは、あいさつも短かくすっきりしているところが良かったです。これぞ「NPO」ですね(笑)。私は「まちづくり」には市(行政)のリーダーシップが不可欠だと考えています。これからは、行政と個人だけではできないことを、社会の人たちの共感を集めて動くNPOを応援したいです。

●槇いつ子さん

仙台メディカルメイクの会

サポートセンター利用時にスタッフに勧められて参加することにしました。勉強会は月1回開催していますが、活動の仕方については少し行き詰まりを感じていた頃なので、一般の人たちに活動内容を広く知ってもらうちょうどいい機会になると思いました。参加してみた感想としては、初めてだったためどう動いていいのかがわからず戸惑うこともありましたが、活動の内容も紹介できだし、来年の参考にすることもでき良かったと感じています。

ときめく出会いの場になりました!

NPO・企業・市民大集合!

●青柳建一さん

東京海上日動火災保険(株)

今年のケアーズは、パフォーマンスがあり、また人通りも多い会場でとても盛り上がったと思います。硬い感じがなく楽しく過ごせました。私は、当社が長くお付き合いのできる良きパートナーを見つけるためにケアーズに参加しています。ケアーズを通して、少しでも仙台の社会貢献のお役に立てればと思っています。転勤族の私からみると住みやすさでは一番の仙台。これからもいろんな団体さんとお目にかかるみたいと考えています。

来場した市民の声

- パフォーマンスなどがありとても楽しく、子どもでも楽しめるイベントでした。
- 現在は特にNPOや市民団体などで活動はしておらず、「NPO」というものにはもっと堅苦しいイメージがありましたがあ、幅広い活動があることがわかりました。
- いろいろな団体のチラシなどがあって、来てよかったです。
- ちょっと興味を持った団体にブースで話を聞いたのですが、もう少しブースが広ければ話しやすかったと思います。

● 小関裕さん せんだいCARES2004 実行委員長

しっとりと落ち着いた空気につつまれた秋の日。ゴスペルの美しい歌声につつまれながら今年のせんだいCARESは始まりました。100万人のひとが暮らす仙台のまちには、紛争や飢えというような深刻な共通課題はありません。でも生活スタイルが多様化し、わたしたちの周囲には様々な日常の課題が溢れています。これらに取り組む草の根の市民活動はわたしたちにとって大変心強いものです。でも細分化された活動を一望にして知り、賛同し参加の機会をもつことは難しいものです。せんだいCARESは、誰でもが広くこれらの活動を知る機会として貴重です。「みんなが参加できる舞台」としてこの「市民活動の祭典」をみんなで育てていきましょう。

◆ サポート資源提供システム ◆ 2004年度上半期運用報告
3年間で総額 約1900万円に！

去る11月11日、今年度の第3回サポート資源提供システム運営委員会を開催しました。この場で事務局が報告した、上半期（4～9月）の資源提供・仲介実績を紹介します。

みんみんファンド（資金提供）としては、「みやぎNPO夢ファンド」から373.8万円、「宮城労働金庫共済会」から20万円、「東北労働金庫宮城県本部」から151万円が提供されました。

物品提供としては、せんだい・みやぎNPOセンターから什器・備品を28点提供しました。PCについては、上半期は提供がありませんでした。

下半期としては、「東京海上日動火災保険」からと（11月7日に提供済み）、日本たばこ

産業より什器・備品が提供される予定です。PCについても、宮城県情報サービス産業協会よりノートPCが提供される予定で準備中です。

NPOがこのシステムを利用する際は、NPO情報ライブラリーに登録することになりますが、この登録数も9月末現在109団体になりました。ホームページでは、団体情報とともに資源の提供も分かりやすく掲載していますので、企業の方や市民のみなさんの訪問をお待ちしています。

※文中敬称略

※報告 おかげさまで、約3年間で総額1933万円相当の支援を実施することができました。物品はのべ113団体に1433点、PC関係はのべ82団体にのべ177台、資金はのべ79団体に1076.3万円を提供しています。
(遠藤智栄)

今日、社会の様々な分野でNPOは活躍していますが、制度やシステムを変え、社会をリードしていく役割を十分果たしていかないといえど、まだまだどうのが現状ではないでしょうか。
そこで、市民の提案力を磨くことを目的に、二〇〇四年度社会福祉法人宮城県共同募金会配分金事業「NPOが社会を変えられない」5つの理由（全六回の連続講座）が、十一月二十五日を皮切りにスタートします。
二回目以降は十一月二日、十二月九日、十二月十六日、翌年一月十三日、一月二十七日と、お正月をはさみ二ヶ月間に渡る講座ですが、各回そのテーマの最先端でご活躍の方々に、ご登壇いただきます。

会場は仙台市市民活動サポートセンターです。これを機に仙台、宮城の「市民による政策提言」の何が変わる、そんな講座になることを願っておりま

す。ご参加をお待ちしています。
(小松敏成)

● 講座のお知りかせ NPOが社会を変えられない5つの理由 ●

は、NPOの川北秀人氏、芝原浩美氏、三回目の「調べられない」では、北海道大学大学院の宮内泰介氏、四回目の「形にできない」では、同志社大学大学院の新川達郎氏、五回目の「伝えられない」では、シーズの松原明氏、六回目の「やってみよう」では、当センターの加藤哲夫氏と豪華な顔ぶれです。この連続講座では、受講者の方々に「情報公開制度」や「行政の制度・仕組み」を理解した上で、「市民が調査」し、さらにその結果を「提案としての形」にし、「提案戦略」の立案を「実践」していくただくことを目的としています。

会場は仙台市市民活動サポートセンターです。これを機に仙台、宮城の「市民による政策提言」の何が変わる、そんな講座になることを願っております。ご参加をお待ちしています。

報告
センタード
サロン

9月18日

10月13日

9月は「実行委員会のホンネ～なぜあそこはうまくいくの？」と題し、現在活動している実行委員会のスタッフを対象に開催しました。

自己紹介のあと、それぞれ「他の団体に聞いてみたいこと」をポストイットに書き出し、参加者全員で意見交換をするという形で進めました。

他の団体に聞いてみたいことは、それぞれが活動するうえで抱えている課題ともつながっています。会員同士のコミュニケーションの取り方、コアスタッフの集め方など出された課題も実にさまざま。

今回の参加者は、実行委員会歴10年以上の方から数ヶ月の方まで経験も活動分野も違いましたが、それぞれの段階での課題もみえてきました。実行委員会に限らずとも、組織として継続的に活動を続けるためには熱意だけではなく、工夫やノウハウも必要だということが実感できました。

普段忙しさに追われてなかなか自身の活動を振り返る機会や、他の団体と運営についてざっくばらんにお話をする機会はなかなか持てないものです。今回のサロンが団体同士の交流やノウハウ交換のきっかけとなり、活動のステップアップになればと感じました。
(小松州子)

見・提言をいただきました。

特に今回は、「地域貢献サポート資源提供システム」についてのご意見の一部をご紹介します。

「提供する側から見ると、もっと広く多くの団体に提供していきたい。助成を受けたが、本当は通常の活動に助成して欲しいところだ」「何回か助成を受けているが、活動を評価されて助成金をいただいたと思っていて」「(某社)では贈答品に作業所の品を使つていい。助成金の次につながる仕組を作つていい。」(以上、概略)等など、意見交換が行われました。

頂戴したご意見を真摯に受け止め、事業展開に活かしていく。(遊佐さゆり)

10月は「担当者に直接聞く！メディア活用のコツ」と題して河北新報社とNHK仙台放送局の方をゲストにお招きしお話をうかがいました。

メディアの方が情報を得る方法としては、直接FAXやメールで送られてくるもののほか、公共施設に足を運び、置いてあるチラシからも得るということもわかりました。また、メディア全体の仕組みを知ることで、多くの窓口の中からどこに情報を提供すべきかということや、NPOが告知連絡をする時の担当窓口を知ることができました。さらに、情報を提供する側の心構えについてのお話では、提供する際の基本事項の確認を行いました。イベント開催の場合はどれくらい前からプレスリリースすべきか、また、媒体によって取り上げられやすいものが異なるということを知り、参加者の驚き喜ぶ姿がありました。

ゲストのお話を聞き、NPOや市民からの情報源が大切なものである一方、情報を提供する側として気を付けるべきこともたくさんあることがわかり参考になりました。

今回はNPOとメディアとのいい関係づくりのキッカケになるサロンを開催することができたと感じています。
(渡辺幸代)

さる十月五日、第八回評議員会を開催しました。本期は評議員の改選期にあたります。理事会にて再任と新任の方を決定した上で、各委員へ依頼し、承諾を得ました。その結果、本期(二〇〇四年七月～二〇〇六年六月)の評議員は三十一名から三十九名に増えました。その中から今回は十六名にご出席いただきました。

まず、代表理事と常務理事が、第六回通常総会同様に前年度の事業報告と今年度の事業計画について報告。そして、九月の理事会宿で協議された、十周年に向けての取り組みを七点に整理して報告しました。その後、評議員から、当センターへのご意見・提言をいただきました。

報告 第8回評議員会

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.12
「ぬくもりを力に・・・握手をしよう！」 常務理事・事務局長 紅邑 晶子

この秋、父が入院しました。手術前や術後は家族としての介護も必要で、父に肩を貸して歩いたり、車椅子の乗り降りの際に手を添えたり、排泄の手伝いをしたり、いつになくたくさん父の手や体に触れる機会が増えました。

そんな中、仕事も超多忙な時期が重なり(こういう時期に、なぜか忙しさって重なるんですね)、自分の体調も心身ともに低下しました。そこで、実行したのはマッサージを受けること。これまで、スタッフに肩をもんでもらうことでクリアしてきましたが、そういう段階ではありません。とにかく楽になりたい一心で初めてプロのマッサージを受けました。

最近では、アニマルセラピーといって、イルカや犬、猫、馬などと触れ合うことで障害者や高齢者を癒す効果があるといわれ、そういう

う活動をしているNPOもあります。マッサージを受けて気がついたのは、他者から癒されるということでした。

だから、みんなで肩もみをしようというわけではありません。外国人のように、あいさつがわりに抱き合うというのは、ちょっと抵抗があります。でも、握手ならできると思いました。握手をすると、相手の手のぬくもりを感じます。暖かい、冷たいいろいろです。でも、その温度の違いが何かを伝えると思うのです。その言葉にならないメッセージは、元気の元になるような気がします。父は、元気になるにつれ介助をすることは少なくなりましたが、帰り際の握手はいまも実行しています。握り返す力や手のぬくもりが、お互いの元気を測るバロメーターです。ということで、これからはできるだけいろんな人と握手をしたいと思うわけです。

なんとなくわかつて
る。けれども人に正しく伝
えることが出来ない。私に
はそんな事がいくつもあ
る。私のように、調べ物は
もっぱらネット検索でとい
う人も多いだろう。けれど
もそこで得られる情報の信
憑性は?私たちは正しく調
べるためのノウハウを学ん
できたのだろうか。

本書は調べるためのノウ
ハウを、「調べる→まとめ
る→伝える」の順に、章立
てでわかりやすく、段階的
に伝授している。「調べる」
では、インターネットでの
データや文献の探し方か
ら、現場でのフィールドワー
ークにおける聞き取りテク
ニックまでを具体的に紹
介。この章を読み終え、早
速私は国立国会図書館のサ
イトを開き、お気に入りに
追加してしまった。続いて
「調べたデータのまとめか
た」から「効果的なフレゼ
ンティーションの仕方」を紹

介している。資料整理に時間を使いやしている人、デタのまとめたが苦手な人は必読である。すべての章には練習問題がいくつか設けられているので、具体的に試しながらノウハウを身につけることができる。

さて、この本は調査のノウハウを紹介するためだけのものではない。副題に注目してみよう。「市民のための調査入門」となっている。「自分たちのことは自分たちで決める。調査という道具をもつと使って少しでも世の中を変えよう」著者は最後にそう締めくくっている。自分たちの活動は一人よがりになつていなければ、正しい情報に基づいて活動しているか、本書を読んで自己点検してみたくなる、そんな要素もあわせもつ一冊である。(小松州子)

※「NPOが社会を変えられない5つの理由」(四貢参照)の講師として十一月九日、来仙されます。お楽しみに!

BOOK

官分で調べる技術 市民のための調査入門

事務局活動報告
(2004.9.5~10.20)

活動
報告

■事務局/自主事業関連

- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング(9/8・15・22・10/6・13・20)
- ・事務局ミーティング(9/9・10/14)
- ・事業・運営会議(第90回:9/14 第91回:9/28 第92回:10/12)
- ・事業・企画戦略会議(9/16・10/14)
- ・理事会(第64回:9/25 第65回:10/20)
- ・センダードサロン「実行委員会の本音」「メディア活用のコツ」(9/28 小松・八田・遠藤 10/13 遠藤・中津・渡辺)
- ・センター会議(9/29)
- ・ふくふくファンド・みんみんファンド書類審査会(10/4)
- ・評議員会(第8回:10/5)
- ・せんだいC A R E S オープニング説明会/公開録音(10/6・20)
- ・五城ライオンズクラブ公開コンペ(10/12)

■NPO/企業関連

- ・NPOの政策提案を考える意見交換会/主催:(特)まちづくり情報センターかながわ(9/10 紅邑・高田)
- ・CEO会議/主催:(特)日本NPOセンター(9/10 紅邑)
- ・多文化セミナリオみえフォローアップ研修・成果発表会/主催:(財)三重県国際交流財団(9/11・12 加藤)
- ・市民セクター全国会議2004(9/11 青木)
- ・NPO/NGO連絡会(9/11 青木)
- ・宮城県のまちづくりNPO集まれ!=コラボサミット=「市民農園から地域づくりへ」/主催:(特)まちづくり政策フォーラム(9/11 遠藤)
- ・協働によるまちづくり市民会議における基礎講座/主催(特)いわてNPO-NETサポート(9/22 紅邑)
- ・ライフプランセミナー50「社会参加と生きがいづくり」/主催:日本たばこ産業(株)(9/29 紅邑)
- ・平成16年度会員研修会「いきいき活動のコツ」/主催:(特)でんでん宮城いきいきネットワーク(10/2 加藤)
- ・エル・パークフォーラム2004研修「魅力ある会場の作り方」/主催:(特)イコールネット仙台(10/20 青木)

■自治体関連

- ・宮城県遊休施設等の有効利用によるNPOの拠点づくり事業運営委員会(10/1 青木)
- ・「アレマ隊員養成講座」「アレマ隊出前講座」/主催:仙台市環境局(9/5・24 紅邑)
- ・クリーン仙台推進員グループ学習会/主催:仙台市環境局

(9/7・10/5 加藤)

- ・住民協働ワークショップ/主催:(財)ふくしま自治研修センター(9/8・10/6 加藤)
- ・市民センター職員研修「コーディネーター&ファシリテーター養成研修」(9/10 加藤・遠藤)
- ・みやぎ青年育成推進事業「みやぎ地球市民すくすく計画2004」市民プロデューサー養成講座/主催:宮城県環境生活部(9/11・18・10/2・3 紅邑・佐藤)
- ・仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会/主催:仙台市太白区(9/11 遠藤)
- ・NPOと行政との協働に関するセミナー「NPOと地方自治体-協働に求められるもの」/主催:宮城県環境生活部(9/16 大滝・加藤)
- ・宮城県NPOマネジメント実践講座2004/主催:宮城県(9/18・19・20・10/9・10・11 加藤・遠藤・渡辺)
- ・「どんどん元気になる市民活動術!」/主催:新潟県長岡地域振興局(9/23・10/3・17 加藤)
- ・協働推進ワーキンググループ/仙台市市民局(9/28 加藤、紅邑)
- ・仙台市市民活動サポートセンター人材育成「いろは塾」/起業家スクール「起業プラン作成編」(9/30・10/1・15)
- ・杜の都の市民環境教育・学習推進会議(10/2・3 遠藤智)
- ・コミュニティビジネス開発講座見本市/主催:(財)仙台市産業振興事業団(10/4 加藤・遠藤)
- ・地域活性化フォーラム in 福井/主催:福井市、(財)地域活性化センター(10/8 加藤)
- ・平成16年度青い森未来を創る青年塾・研修会/主催:青い森未来を創る青年塾実行委員会(10/9 加藤)
- ・仙台市健康福祉局指定管理者選定委員会/主催:仙台市健康福祉局(10/12 紅邑)
- ・アクティビシニア講習会/主催:宮城県産業人材育成課(10/13 加藤・紅邑)
- ・地球環境基金評価専門委員会/主催:(独)環境再生保全機構(10/15 加藤)
- ・宮城県NPO促進委員会/主催:宮城県環境生活部(10/15 加藤)
- ・環境省職員・環境ボランティア・NPO研修/主催:(財)水と緑の惑星保全機構(10/18 加藤)

■相談、ヒアリング関連

- ・経営相談(9/24・10/19 加藤)
- ・ヒアリング:(株)日本総合研究所(9/14 加藤)

サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成16年度会員 (敬称略順不同、2004年9月5日～10月20日)

(継続・正会員)

(特) いわてNPO-NETサポート、相澤耀二、出雲幸五郎、加藤哲夫、川崎あや、木村正樹、昆野武裕

(継続・準会員)

伊藤寿朗、枝松芳枝、佐藤和夫、高島紗綾、田口暁子、南條成子、早坂恵美

●企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて) 富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

◆センダードサロン

「知らなきゃソンソン NPO支援税制学習会」

日程：12月18日（土）14～16時

会場：青葉区中央市民センター第1会議室

参加費：会員500円、非会員1000円

認定NPO法人制度改正のための全国キャンペーンの仙台場所として実施します！

事業
・
講座
紹介

◆地球環境基金 地球環境市民大学校 主催

●組織マネジメント講座

日程：12月11日（土）～12日（日）

会場：仙台市戦災復興記念館4階第2会議室

ゲスト：白神山地を守る会（青森）、知音（山形）、地球とともに歩む会（岩手）、あぶくまエヌエスネット（福島）、環境サークル「ラベンダーの会」（宮城）

●協働コーディネーター養成講座

日程：2005年1月22日（土）～23日（日）

会場：仙台市戦災復興記念館4階第1会議室

協働事例：レインボープラン推進協議会と長井市、ひろさき環境パートナーシップ21と弘前市、（株）一ノ蔵と環境保全米ネットワーク

※上記の申し込みは当センターです。各定員30名。

◆市民の提案力向上セミナー

「NPOが社会を変えられない5つの理由」

日程：11/25・12/2・12/9・12/16・1/13・1/27

会場：仙台市市民活動サポートセンター

参加費：6回連続で3000円

定員：30名（まもなく満員です。申込はお早めに！本号4頁参照）

Eメールを
お知らせ下さい

当センターでは、会員の皆さんへのサービスとして、Eメールによる情報提供を実施しております。Eメールを送受信できる環境にある会員の方々で、まだメールアドレスを事務局にお伝えいただいている方は、ぜひご連絡下さい。 minmin@minmin.org

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@minmin.org
http://www.minmin.org/

会費・寄付はこちらにどうぞ！

郵便振替：02260-3-16325

加入者：せんだい・みやぎNPOセンター

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15～20分



みんみん編集後記

■御殿場で行われた「子どもごみシンポジウム」に出席したら、アレマ隊が大好評だった。ある人から、全国区で展開する価値があるとまでいわれた。

「そうなんだなあ」と改めて納得した。（紅昌）

■CARESの広報をしていると、人から人へ伝えることの楽しさや嬉しさを少し体験することができます。メールやパンフレットだけでは伝わらないことも、イベントを通じて感じ取ることができるはず。この秋、CARESでどんな出会いがありましたか。（小松）

■秋といえば「収穫祭」。つい先日も地域づくりをテーマにするNPOの方からお誘いがあった。でも仕事で行けずじまい…。冬が来る前に秋を堪能しなくては！ちなみに今晩はボジョレーヌーボーの解禁日。24時にワインバーのドアをたたけるかどうか。美味しい秋情報、お待ちしています。（遠藤ち）